



平成 30 年 11 月 13 日

各 位

会 社 名 東邦金属株式会社  
代表者名 代表取締役社長 小樋 誠二  
(コード：5781、東証第二部)  
問合せ先 取締役総務部長 森本 幾雄  
(TEL. 06-6202-3376)

(訂正)「平成 26 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について

当社は、平成 26 年 1 月 30 日に発表した「平成 26 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」について訂正がありましたのでお知らせします。

## 記

### 1. 訂正の内容と理由

訂正内容と理由につきましては、別途、本日(平成 30 年 11 月 13 日)付「過年度の決算短信等の一部訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

### 2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後および訂正前の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付して表示しております。

以 上

(訂正後)



平成 26 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年1月30日

上場会社名 東邦金属株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5781 URL <http://www.tohokinzoku.co.jp>  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)三喜田 浩  
問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)有馬 敬三 TEL 06-6202-3376  
四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 26 年 3 月期第 3 四半期の業績 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	2,665	1.1	35	—	△31	—	17	—
25年3月期第3四半期	2,636	△16.0	△248	—	△244	—	△269	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	0.77	—
25年3月期第3四半期	△11.59	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,142	1,946	47.0
25年3月期	4,102	1,913	46.6

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 1,946百万円 25年3月期 1,913百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—		
26年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 26 年 3 月期の業績予想 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,582	6.8	40	—	47	—	94	—	4.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期3Q	23,380,012株	25年3月期	23,380,012株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	174,871株	25年3月期	166,390株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	23,207,023株	25年3月期3Q	23,220,452株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報」（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新興国の成長鈍化、欧州経済の低迷等、海外の景気動向に依然として不透明感が拭えないながらも、円安、株高効果による企業業績の改善、個人消費の持ち直し、積極的な財政出動による公共投資の増加がみられ、引き続き回復基調で推移いたしました。

このような状況下当社は、赤字体質からの脱却に向け、既存の事業における販価改定、原価低減による収益力の回復を図るとともに、既存の事業の周辺分野も含め、より高い成長が見込める事業領域における新製品の投入及び新市場の開拓による新たな収益基盤の獲得に注力してまいりました。

この結果、円安効果によるレンジ用モリブデン加工品の増加、海外向けスポット受注による超硬合金の増加、自動車用電極の需要回復等により、売上高は 2,665 百万円、前年同四半期対比 1.1%の増収となりました。

損益面では、労務費、経費等の固定費削減により、35 百万円の営業利益(前年同四半期累計期間は 248 百万円の営業損失)となりました。

営業外損益は回収懸念債権に対する貸倒引当金繰入額 76 百万円の計上等により前年同四半期累計期間に比べて 70 百万円悪化し、経常損失は 31 百万円(前年同四半期累計期間は 244 百万円の経常損失)となりました。

また、投資有価証券売却益 54 百万円を特別利益に計上した結果、四半期純利益は 17 百万円(前年同四半期累計期間は 269 百万円の四半期純損失)となりました。

セグメント区分別の状況は、次のとおりであります。

## (電気・電子)

タングステン・モリブデン製品は、レンジ用モリブデン加工品が増加したものの、タングステン電極が減少し、売上高 1,242 百万円(前年同四半期対比 3.7%減)となりました。

合金及び電気・電子部品は、光通信用タングステン合金が減少し、売上高 295 百万円(前年同四半期対比 29.3%減)となりました。

その他の製品は、自動車用電極が増加し、売上高 809 百万円(前年同四半期対比 11.6%増)となりました。

この結果、電気・電子合計は売上高 2,347 百万円(前年同四半期対比 3.5%減)となり、営業利益は 24 百万円(前年同四半期累計期間は 231 百万円の営業損失)となりました。

## (超硬合金)

超硬合金の売上高は海外向けスポット受注により 317 百万円(前年同四半期対比 56.9%増)となり、営業利益は 11 百万円(前年同四半期累計期間は 17 百万円の営業損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、2,416 百万円(前事業年度末は 2,344 百万円)となり、72 百万円増加しました。

受取手形及び売掛金が 193 百万円増加、商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品等のたな卸資産が 66 百万円減少、現金及び預金が 39 百万円減少したこと等が主な要因であります。

## (固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,725 百万円(前事業年度末は 1,758 百万円)となり、32 百万円減少しました。

有形固定資産が 42 百万円減少、無形固定資産が 3 百万円減少、投資その他の資産のその他が 83 百万円増加及び貸倒引当金が 70 百万円増加したこと等が主な要因であります。

## (流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、1,704 百万円(前事業年度末は 1,425 百万円)となり、278 百万円増加しました。

短期借入金が 230 百万円増加、支払手形及び買掛金が 34 百万円増加したこと等が主な要因であります。

## (固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、491 百万円(前事業年度末は 763 百万円)となり、272 百万円減少しました。

長期借入金が229百万円減少、役員退職慰労引当金が22百万円減少したこと等が主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、1,946百万円(前事業年度末は1,913百万円)となり、32百万円増加しました。

四半期純利益 17百万円の計上、その他有価証券評価差額金が15百万円増加したこと等が主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績につきましては、平成25年11月25日公表の投資有価証券売却益(特別利益)を織り込んだ予想に修正しております。販売数量の変動、その他施策の検討実施等、今後、業績が変動する要素があり、再度の修正が必要な場合には速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	471,008	431,644
受取手形及び売掛金	848,222	<u>1,041,702</u>
商品及び製品	110,281	102,827
仕掛品	603,651	570,825
原材料及び貯蔵品	269,873	243,640
その他	48,839	35,002
貸倒引当金	<u>△7,058</u>	<u>△8,660</u>
流動資産合計	2,344,820	<u>2,416,983</u>
固定資産		
有形固定資産		
土地	782,785	782,785
その他(純額)	391,131	348,444
有形固定資産合計	<u>1,173,917</u>	<u>1,131,230</u>
無形固定資産	20,663	17,642
投資その他の資産		
その他	581,581	665,402
貸倒引当金	<u>△18,048</u>	<u>△88,884</u>
投資その他の資産合計	563,533	<u>576,517</u>
固定資産合計	1,758,115	<u>1,725,390</u>
資産合計	4,102,935	<u>4,142,374</u>
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	392,327	427,075
短期借入金	835,600	1,065,600
未払法人税等	8,935	9,346
賞与引当金	47,723	36,207
その他	141,378	166,250
流動負債合計	1,425,965	1,704,479
固定負債		
長期借入金	332,700	103,500
退職給付引当金	211,852	210,514
役員退職慰労引当金	66,225	43,690
その他	153,121	134,165
固定負債合計	763,899	491,870
負債合計	2,189,864	2,196,350

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,531,828	2,531,828
資本剰余金	237,794	237,794
利益剰余金	△994,317	<u>△976,565</u>
自己株式	△24,856	△25,500
株主資本合計	1,750,448	<u>1,767,557</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	162,622	178,466
評価・換算差額等合計	162,622	178,466
純資産合計	1,913,070	<u>1,946,024</u>
負債純資産合計	4,102,935	<u>4,142,374</u>



(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	2,636,482	<u>2,665,643</u>
売上原価	2,430,147	<u>2,269,482</u>
売上総利益	206,335	<u>396,160</u>
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	141,244	128,480
賞与引当金繰入額	6,240	8,808
役員退職慰労引当金繰入額	11,400	8,825
退職給付費用	19,190	15,314
減価償却費	27,037	14,765
貸倒引当金繰入額	487	<u>1,606</u>
その他の一般管理費	249,449	182,804
販売費及び一般管理費合計	455,049	<u>360,603</u>
営業利益又は営業損失 (△)	△248,714	<u>35,556</u>
営業外収益		
受取利息及び配当金	10,767	11,693
為替差益	—	7,842
その他	20,916	<u>7,920</u>
営業外収益合計	31,684	<u>27,456</u>
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	—	76,535
その他	27,860	17,702
営業外費用合計	27,860	<u>94,237</u>
経常損失 (△)	△244,890	<u>△31,224</u>
特別利益		
投資有価証券売却益	1,780	54,162
固定資産売却益	1,699	—
特別利益合計	3,479	54,162
特別損失		
固定資産売却損	15,677	—
減損損失	6,840	—
ゴルフ会員権評価損	150	—
特別損失合計	22,667	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△264,078	<u>22,938</u>
法人税、住民税及び事業税	5,405	5,405
法人税等調整額	△396	△219
法人税等合計	5,008	5,185
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△269,087	<u>17,752</u>

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(訂正前)



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年1月30日

上場会社名 東邦金属株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5781 URL <http://www.tohokinzoku.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三喜田 浩  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 有馬 敬三 TEL 06-6202-3376  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	2,763	4.8	38	—	48	—	97	—
25年3月期第3四半期	2,636	△16.0	△248	—	△244	—	△269	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	4.20	—
25年3月期第3四半期	△11.59	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	4,222	2,025	48.0
25年3月期	4,102	1,913	46.6

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 2,025百万円 25年3月期 1,913百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,582	6.8	40	—	47	—	94	—	4.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	23,380,012株	25年3月期	23,380,012株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	174,871株	25年3月期	166,390株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	23,207,023株	25年3月期3Q	23,220,452株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報」（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新興国の成長鈍化、欧州経済の低迷等、海外の景気動向に依然として不透明感が拭えないながらも、円安、株高効果による企業業績の改善、個人消費の持ち直し、積極的な財政出動による公共投資の増加がみられ、引き続き回復基調で推移いたしました。

このような状況下当社は、赤字体質からの脱却に向け、既存の事業における販価改定、原価低減による収益力の回復を図るとともに、既存の事業の周辺分野も含め、より高い成長が見込める事業領域における新製品の投入及び新市場の開拓による新たな収益基盤の獲得に注力してまいりました。

この結果、円安効果によるレンジ用モリブデン加工品の増加、海外向けスポット受注による超硬合金の増加、自動車用電極の需要回復、商事品の増加等により、売上高は2,763百万円、前年同四半期対比4.8%の増収となりました。

損益面では、労務費、経費等の固定費削減により、38百万円の営業利益(前年同四半期累計期間は248百万円の営業損失)となりました。

営業外損益は為替差益の計上、支払利息の減少等により前年同四半期累計期間に比べて6百万円改善し、経常利益は48百万円(前年同四半期累計期間は244百万円の経常損失)となりました。

また、投資有価証券売却益54百万円を特別利益に計上した結果、四半期純利益は97百万円(前年同四半期累計期間は269百万円の四半期純損失)となりました。

セグメント区分別の状況は、次のとおりであります。

## (電気・電子)

タングステン・モリブデン製品は、レンジ用モリブデン加工品が増加したものの、タングステン電極が減少し、売上高1,242百万円(前年同四半期対比3.7%減)となりました。

合金及び電気・電子部品は、光通信用タングステン合金が減少し、売上高295百万円(前年同四半期対比29.3%減)となりました。

その他の製品は、自動車用電極、商事品が増加し、売上高907百万円(前年同四半期対比25.2%増)となりました。

この結果、電気・電子合計は売上高2,446百万円(前年同四半期対比0.5%増)となり、営業利益は27百万円(前年同四半期累計期間は231百万円の営業損失)となりました。

## (超硬合金)

超硬合金の売上高は海外向けスポット受注により317百万円(前年同四半期対比56.9%増)となり、営業利益は11百万円(前年同四半期累計期間は17百万円の営業損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、2,519百万円(前事業年度末は2,344百万円)となり、174百万円増加しました。

受取手形及び売掛金が296百万円増加、商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品等のたな卸資産が66百万円減少、現金及び預金が39百万円減少したこと等が主な要因であります。

## (固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,702百万円(前事業年度末は1,758百万円)となり、55百万円減少しました。

有形固定資産が42百万円減少、無形固定資産が3百万円減少、投資その他の資産が9百万円減少したこと等が主な要因であります。

## (流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、1,704百万円(前事業年度末は1,425百万円)となり、278百万円増加しました。

短期借入金が230百万円増加、支払手形及び買掛金が34百万円増加したこと等が主な要因であります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、491百万円(前事業年度末は763百万円)となり、272百万円減少しました。

長期借入金が229百万円減少、役員退職慰労引当金が22百万円減少したこと等が主な要因であります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、2,025百万円(前事業年度末は1,913百万円)となり、112百万円増加しました。

四半期純利益97百万円の計上、その他有価証券評価差額金が15百万円増加したこと等が主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績につきましては、平成25年11月25日公表の投資有価証券売却益(特別利益)を織り込んだ予想に修正しております。販売数量の変動、その他施策の検討実施等、今後、業績が変動する要素があり、再度の修正が必要な場合には速やかにお知らせいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	471,008	431,644
受取手形及び売掛金	848,222	1,144,949
商品及び製品	110,281	102,827
仕掛品	603,651	570,825
原材料及び貯蔵品	269,873	243,640
その他	48,839	35,002
貸倒引当金	△7,058	△9,517
流動資産合計	2,344,820	2,519,373
固定資産		
有形固定資産		
土地	782,785	782,785
その他(純額)	391,131	348,444
有形固定資産合計	1,173,917	1,131,230
無形固定資産	20,663	17,642
投資その他の資産		
その他	581,581	565,936
貸倒引当金	△18,048	△12,033
投資その他の資産合計	563,533	553,903
固定資産合計	1,758,115	1,702,776
資産合計	4,102,935	4,222,149
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	392,327	427,075
短期借入金	835,600	1,065,600
未払法人税等	8,935	9,346
賞与引当金	47,723	36,207
その他	141,378	166,250
流動負債合計	1,425,965	1,704,479
固定負債		
長期借入金	332,700	103,500
退職給付引当金	211,852	210,514
役員退職慰労引当金	66,225	43,690
その他	153,121	134,165
固定負債合計	763,899	491,870
負債合計	2,189,864	2,196,350



(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,531,828	2,531,828
資本剰余金	237,794	237,794
利益剰余金	△994,317	△896,790
自己株式	△24,856	△25,500
株主資本合計	1,750,448	1,847,332
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	162,622	178,466
評価・換算差額等合計	162,622	178,466
純資産合計	1,913,070	2,025,799
負債純資産合計	4,102,935	4,222,149

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	2,636,482	2,763,973
売上原価	2,430,147	2,364,032
売上総利益	206,335	399,940
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	141,244	128,480
賞与引当金繰入額	6,240	8,808
役員退職慰労引当金繰入額	11,400	8,825
退職給付費用	19,190	15,314
減価償却費	27,037	14,765
貸倒引当金繰入額	487	2,463
その他の一般管理費	249,449	182,804
販売費及び一般管理費合計	455,049	361,460
営業利益又は営業損失(△)	△248,714	38,479
営業外収益		
受取利息及び配当金	10,767	11,693
為替差益	—	7,842
その他	20,916	8,237
営業外収益合計	31,684	27,773
営業外費用		
支払利息	20,147	16,175
その他	7,713	1,526
営業外費用合計	27,860	17,702
経常利益又は経常損失(△)	△244,890	48,550
特別利益		
投資有価証券売却益	1,780	54,162
固定資産売却益	1,699	—
特別利益合計	3,479	54,162
特別損失		
固定資産売却損	15,677	—
減損損失	6,840	—
ゴルフ会員権評価損	150	—
特別損失合計	22,667	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△264,078	102,713
法人税、住民税及び事業税	5,405	5,405
法人税等調整額	△396	△219
法人税等合計	5,008	5,185
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△269,087	97,527

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。